◎企画総合計画の経費

企画総合計画事業

経営企画課

【総合計画上の位置づけ】

計画の前提

行財政運営:地方分権社会に対応した持続可能な行財政基盤の確立と効果的な都市経営をめざします

【事業の目的】

対象 市民等

意図 地方自治法の本旨に即し、地域における総合的かつ計画的な行政運営を図るため。

効果 基本構想に掲げた将来都市像「古都としての風格を保ちながら、生きる喜びと新しい魅力を 創造するまち」の実現

【事業の内容】

- (1) 企画事務
 - ・市民活動団体との協働で団塊の世代を中心とした層に対する支援イベントを実施した。
- (2) 総合計画推進事業
 - ・第2期基本計画の各政策分野ごとに目標指標及び目標値を設定し、年度における計画の進行を管理し、その結果を第2期基本計画(WEB版)で公表した。
 - ・前期実施計画の各事業ごとに進行管理を行い、前期実施計画(WEB版・進行管理編)で公表した。
 - 前期実施計画を見直し、中期実施計画を策定した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

第2期基本計画の進行管理(0-Ⅱ-1-①) 団塊の世代対策支援の推進(7-3-3-①)

【重業費】 (単位・千円)

	美賀】				(単位:下円)			
	当初予算額 予算現額		支出済額	支出済額 翌年度繰越額				
	1,171	1,019	878		141			
主	な支出内訳							
	• 企画事務							
	支出内訳 企画事務 (財)地域活性化センター会費負担金 140 鎌倉団塊プロジェクト実行委員会負担金 500 総合計画推進事業 総合計画専門委員報酬 総合計画審議会委員報酬 0							
	 ・企画事務 (財)地域活性化センター会費負担金 鎌倉団塊プロジェクト実行委員会負担金 ・総合計画推進事業 総合計画専門委員報酬 	500						
・総合計画推進事業 総合計画専門委員報酬 総合計画審議会委員報酬								

平成21年度事務事業評価シート

事務事業	ロサービス	部門	経企-01	企画総合	計画車業				
No./名 称	■支 援 등	部 門 	4111 0 1	TEM	#I EI T T				
事務事業	ザイムス		企画事務						
単 位	コード及び 個別事業		企画事務	#\#\ = \#					
名 244 総合			推進事業						
主管課	経営企画部	•	松百百四夕	<u>R</u> 上	関連課	各部各課			
分野名	行財政運営				内定脉				
目標(目標値)			i第2期基本	計画の27分	う野に掲げ7	た、「めざす・	べきまちの姿	受」の実現を	図る。
人口等の	データ区分	203	 年度	19:	年度	18	年度	備	考
データ 人 ロ			184人		002人		051人	•各年4月1	-
	世帯数	77,43	0世帯	76,53	6世帯	75,61	1世帯		
運営資源	決算値	878-	千円	1,026千円		1,131千円			
大 況	(国・県)	20=	rm	21=	31千円		千円		
	(負担金等)	858-		995			<u>Tロ</u> 9千円		
	人員配置数				 		6 人		
	人件費		3千円	24,47	2千円	34,70	1千円		
	協働のパートナー	市民活動団体ロジェクト実行		市民活動団体 ロジェクト実行		市民活動団体ロジェクト実行	体(鎌倉団塊プ 〒委員会)		
事務事業運営経費	総事業費	24,59	1千円	25,49	8千円	35,83	32千円		
	市民1人当 りの経費	139	9円	14	5円	20	5円		
	対象者1人 当りの経費								
20年度事務	•	•	隆止・縮小し	た個別事業)/事業仕分	けの視点に	よる妥当性	の評価	
個別事	業名	変更額(千円)	事業の変更	点·変更理由		<u> </u>	妥当性※	1	
鎌倉団塊プロジェ	クト実行委員会	500	各参加団体か	「それぞれの立	場で進めていく	くこととなった。	2	※妥当性の	
								① 必要性 ② 民間	なし
								3 国・県	
									おり(鎌倉市)
指	標	評	価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(27年度)
政策分野別目村標達成率(平成)	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
標)標(中級	,2 / 千及口			実績値	9.9%	19.8%			
指	標	評	価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
				目標値 実績値					
指	標	評	価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
				目標値					
				実績値					
指	標	評	価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
				目標値					
== /T			51- 	実績値	7 4 1# /	151	W 17 1 -1 1 7		
	:目標を達成			前進してい	る △:横Ⅰ	はい ×∶i	後退している)	
ベンチマーク 団体名	藤沢市	茅ヶ崎市	団体との比 平塚市	<u>戦値)</u> 小田原市	寒川町	逗子市	横須賀市	三浦市	葉山町
実施計画の進行	$\overline{}$	X 25.7 mil li		<u> </u>	· X	O E 1 III	供次貝巾 X	—/IIII	来山町 X
管理結果を公開									
している自治体									
	-					-			
	1					1			
li .	1	1				1			

平成21年度事務事業評価シート

(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 創意・エ夫・ 課題•問題点 ・平成20年度は平成21年度からスタートする中期実施計画を策定する年である。事業採 課題等改善 択に当たっては、厳しい財政状況の中から捻出される計画自由財源の効率的、効果的な 状況 活用に配慮する必要がある。 ・毎年度、財政状況が厳しくなる中で、実施計画を計画どおり進めていくため、中期実施計 画と財政計画との連携を図っていく必要がある。 ・鎌倉団塊プロジェクト実行委員会によるイベントは、市民の関心を呼び、一定の効果は 上がっているが、この事業を評価するためには、「団塊の世代のうち何人が地域デビュ-できたか」といった視点が必要である。イベントの開催は、きっかけとしてはよいが、一過 性の取り組みであるため、今後は、これまでのイベント参加者を含め、団塊の世代一人ひ とりの地域デビューへのフォローアップが必要な時期に来ている。 創意・エ夫・課 (課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 題等の改善点 ・事業採択に際し、採択指針を定めるとともに、都市経営の視点から計画を推進するための配慮事 20年度の成果頃や重点事項を定めた。 ・実施計画とその裏付けとなる財源との整合性を図るべく、中期実施計画と「財政計画」を一体のも のとして策定した。 ・かまくら市民活動ハンドブックの発刊、鎌倉団塊プロジェクト実行委員会専用ホームページの開 設、各種行政視察や取材等への対応などのほか、団塊の世代に係る他市のイベントへの参加、団 塊の世代のコミュニケーションツールとして、地域SNSの研究なども行った。 ・団塊の世代の方々への意識啓発や地域デビューのきっかけづくりとして効果的であった。また、今 回の実行委員会の活動は、市民と行政がそれぞれの長所や得意分野を生かし、相乗効果が発揮 できた。 未解決の課 題・問題点 (20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・もっと、団塊の世代の自主性が喚起できるような場が必要である。 今後の方針 (上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (対応・改善) ・国の制度や景気などの将来動向を見据え、実施計画に掲げる事業の着実な進捗を図 ・これまで3年間の活動を行ってきた鎌倉団塊プロジェクト実行委員会は、平成20年度を もって解散し、今後は、各参加団体がそれぞれの立場で「地域デビュー」への支援を進め ていくこととした.

一次評価(課長評価)

今 [;]		A:充実又は	拡大	C:統合又は縮小	E:事業完了	۸	改善の必要性	
		B:現状のま	ま継続	D:廃止又は休止		A	有	
	担	当課長氏名:			嶋村 豊一			

二次評価(部長評価)

	A:充実又は拡大 C	:統合又は縮小	E:事業完了	^	改善の必要性
	B:現状のまま継続 D):廃止又は休止		A	有
今後の方向性	基本計画、実施計画とも進行管理が	着実に行われており、	施策進行評価との連携	携など有効!	こ活用され
	基本計画・実施計画のWEB版につい				
	切なツールであると考えている。実施計ホームページの構成を再検討し、必要				
担当部名	経営企画部	部長名	小村	亮一	